

東光寺たより 80

文責 東光寺英隆

ソロキャンパー現る♪

当山敷地内でキャンプをされる方がみえるので同行してみました♪実際は、外では寝ていない住職なのであります♪チキンカレーをグツグツ煮込み、夕陽を眺めつつ、まだ見ぬ明日へとつなげる♪まさにそんな境涯でありましょうか♪当山に居ついたネコも参加の由にございました♪何処から来たのか？何をしたいのか？誰にも分かりません♪



東司の改修工事完了です♪

表記の漢字は禅宗では“とうす”と読みます。所謂トイレの事です。何故に東なのでしょう？「東司」という語は、もともと便所を守護する神を指していました。この『東』と『西』に分けられた区別は、古くは寺院の役職によって使い分けられていた背景があります。時として、「西浄」という言い方もあるようで時代が進むに

つれ、「東浄」と「西浄」の呼称の変遷があり、次第に「東司」という名称が一般的になっていったようです。かねてからの案件でありました東司の改修工事に着手して盆前に完成の由でございます。なかなかスタイリッシュでモダンなトイレが出来上がり、お参りのお客さんも安心してお使いいただけると存じます。



坂東方面へとお参りに伺いました

お葬式は時も場所も様々です。今回は、表記の方面へとお弔いに伺った住職でした。喪主も遠いからと心配された事でしょう。ですが、ご縁の在る所へは出来る限りお参りに伺いたい住職なのであります。電車を乗り継いで、無事に行ってまいりました。ですが、故人の黄泉の道は、こうも上手くはいかないでしょうね。今回はヤフーの乗換案内を使って時間通りに東上する事が出来た住職であります。誰かの手引きが無いと黄泉の道安穩である筈がありません。故に、残された者たちがこうやって至心に供養を行う事が大事なのですとお伝えした住職なのであります。



個展を観に行きました♪

住職はここ何年かは、広島は福山へよく足を運んでいますが、此度はフォトグラファー高木裕一郎師の個展を観に行くのでありました♪皆さんは鞆の浦という風光明媚な地をご存じですか？古代から交易や文化の拠点であり、室町時代には「鞆幕府」と呼ばれる政治的拠点としても知られ、「潮待ちの港」として栄えたのであります。船が潮の流れを待つために立ち寄る交通の要衝であり、万葉集にも詠まれるほど歴史が古く、江戸時代には北前船の寄港地としても重要な港町でした。この地に飛び交うトビを写真に収める師の初個展ですので、お祝いに駆け付けた住職♪なるほど、トビを野生動物の記録ではなく鞆の浦に生きる肖像として切り取る。最も美しくなるトキを切り取った画を拝見する事が出来ました。



いよいよシーズン終了になります♪

7/15を迎えると、いよいよお盆に・・・いや祇園祭だとなかなる住職ですが・・・この日を待ち焦がれる人たちが実際にいたのであります。それは道場で雲水を張っていた頃の住職や副住職なのであります。イメージ的には夏休みを迎える学生みたいなものでしょうか？そんな住職は、現役の雲水さんたちにそっと夏野菜や麺類を送るのであります♪



秋葉さんのお参りに伺いました♪

町内の秋葉神社では毎年 7/23 に例祭が行われ、住職も招かれました♪そこでお話をさせてもらおうのですが・・・暑い中ですので手短にと思うのですが・・・何故か？この時だけ涼しい風が吹き渡り、この風は古来より変わらない物ですね。この地区もこうして一年無事に災害等も無く過ごせましたとお伝えして後にした住職でした♪



時代は変わっても

風は変わらない

